

新たな総合計画について

平成28(2016)年3月22日(火)

(株)野村資本市場研究所
研究部主任研究員

江夏 あかね 氏

SMBC日興証券(株)
金融経済調査部 部長
金融財政アナリスト

末澤 豪謙 氏

(株)かんぽ生命保険
運用企画部担当部長

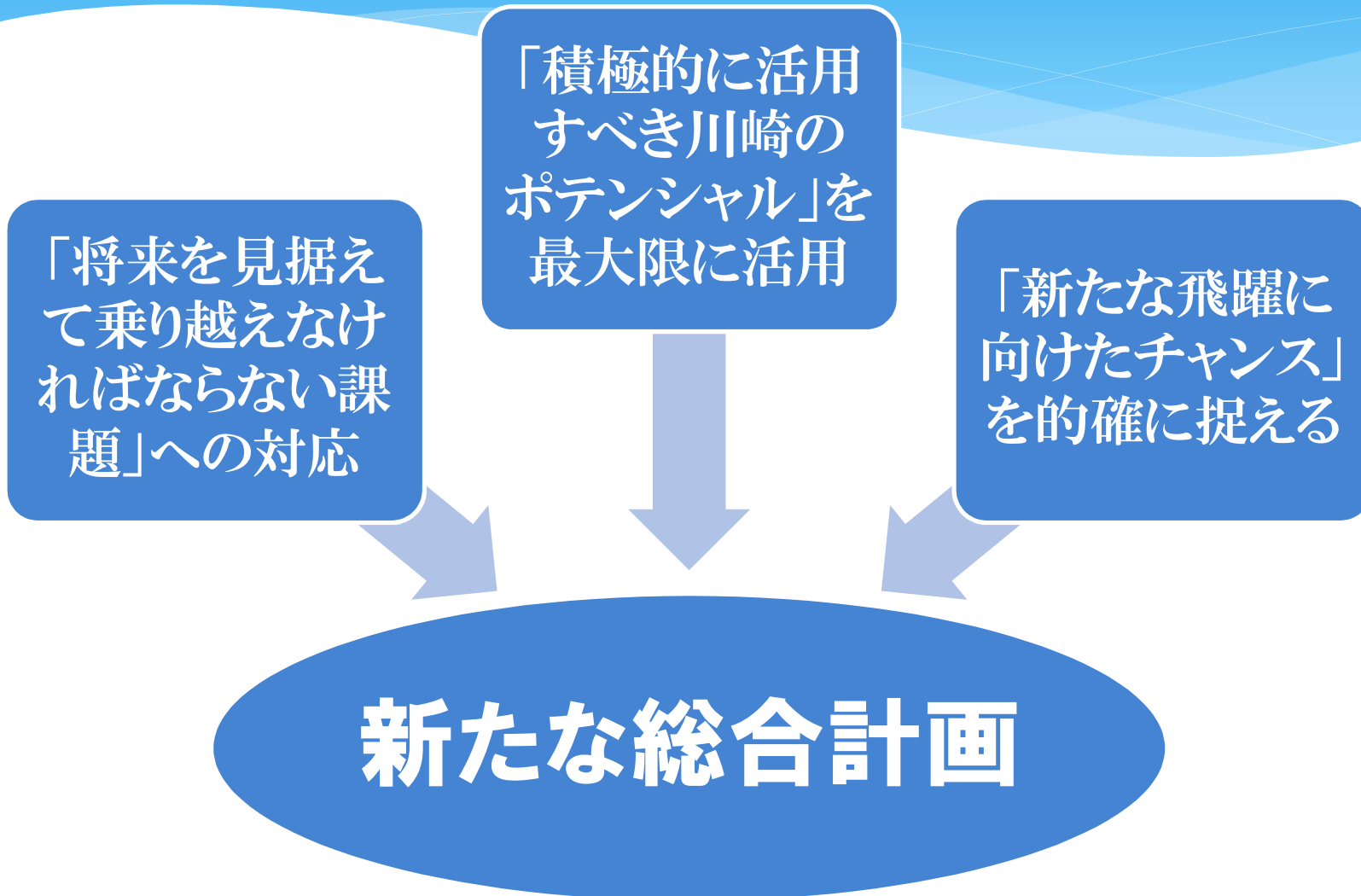
渡邊 満也 氏

川崎市長

福田 紀彦



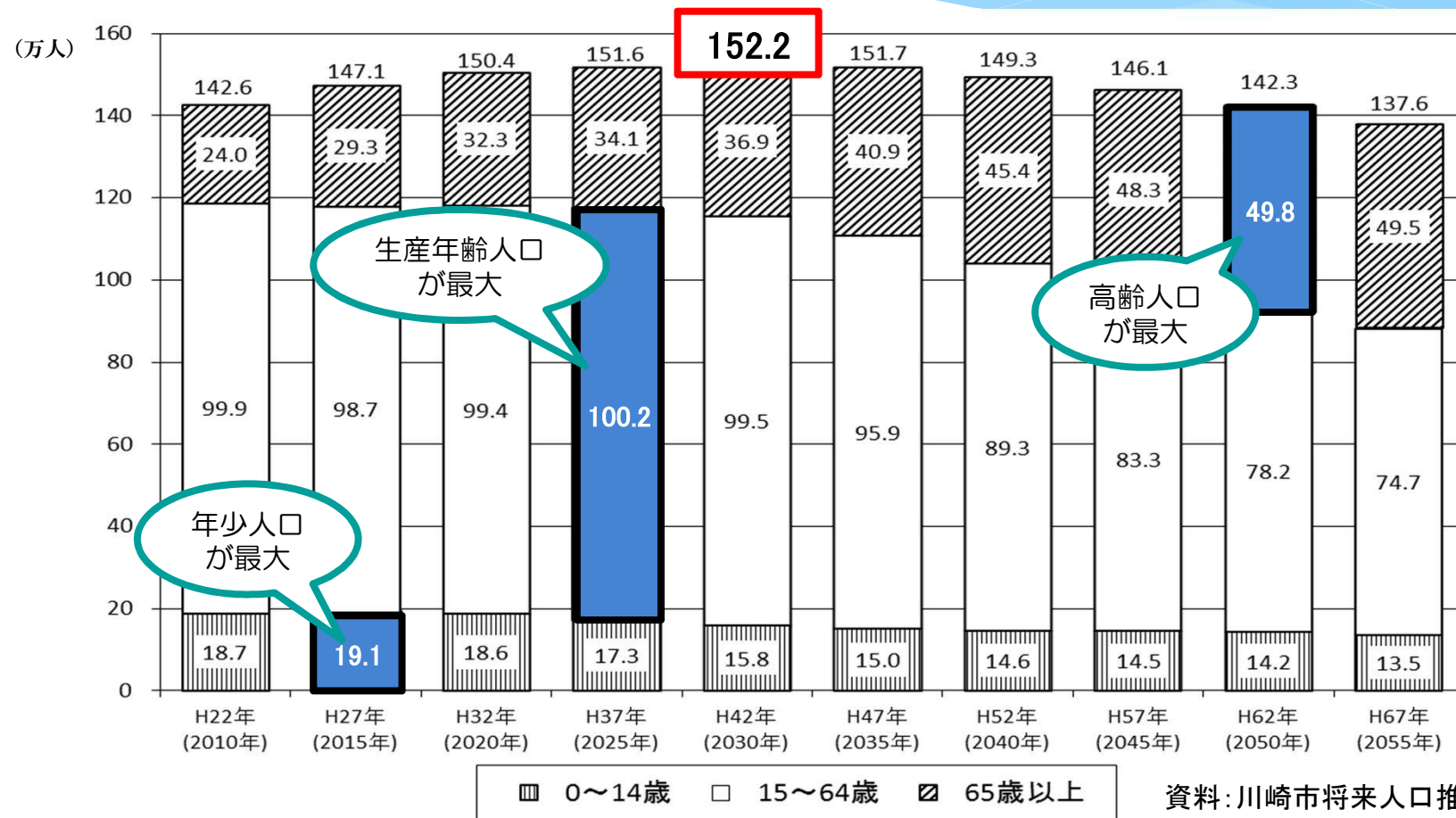
計画策定にあたっての背景・基本認識



将来を見据えて乗り越えなければならない課題

少子高齢化・人口減少への転換

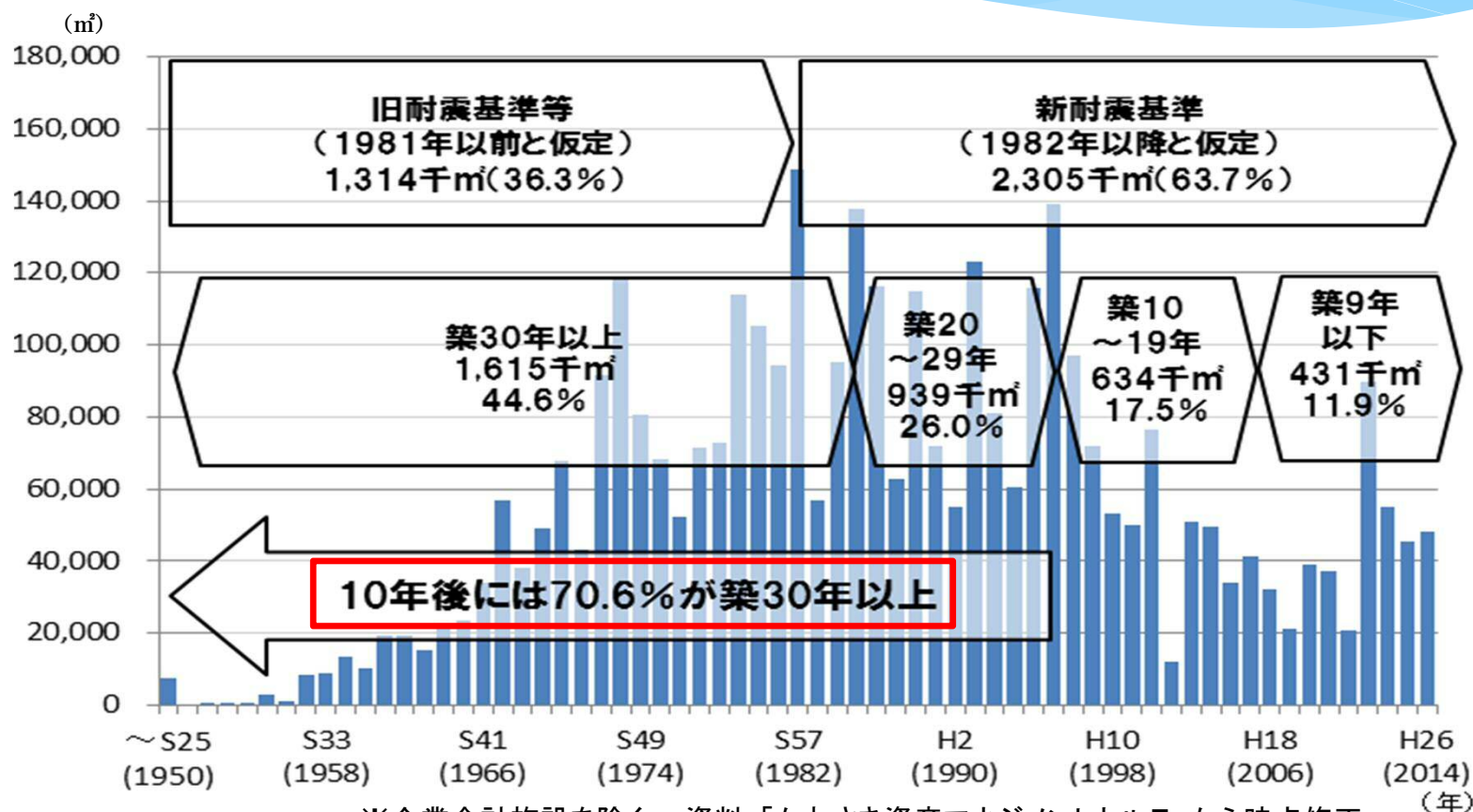
川崎市の将来人口推計



将来を見据えて乗り越えなければならない課題

都市インフラの老朽化

公共建築物の建築年別延床面積

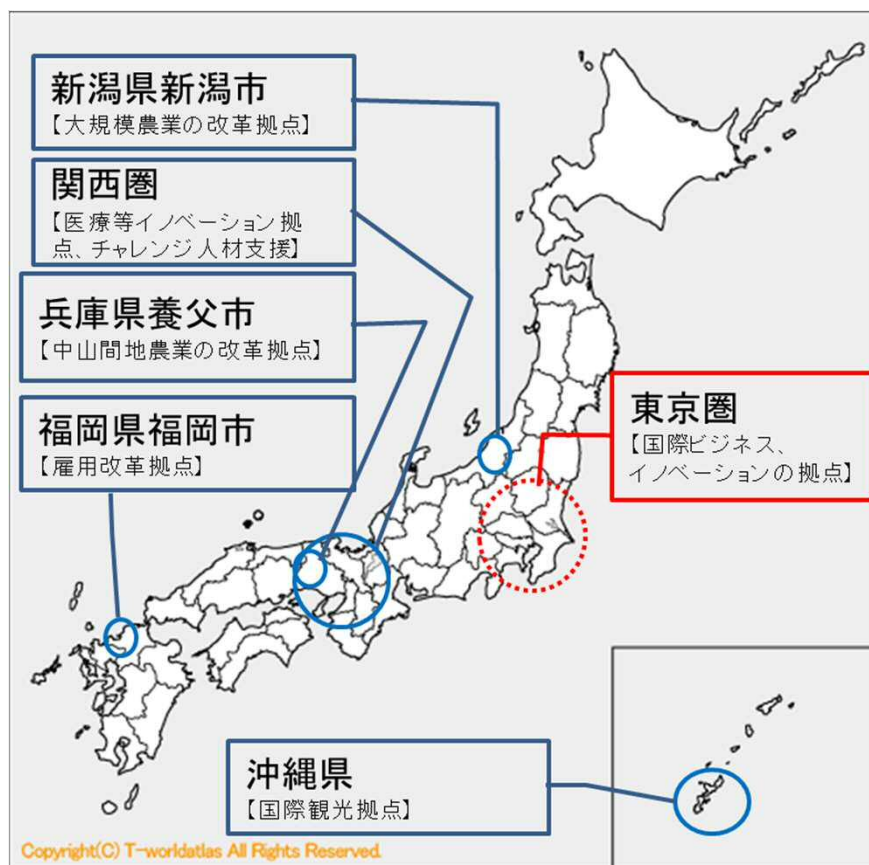


※企業会計施設を除く 資料:「かわさき資産マネジメントカルテ」から時点修正

新たな飛躍に向けたチャンス

国の成長戦略や 2020年東京オリンピック・パラリンピック

国家戦略特区と東京五輪への期待



東京大会を契機に期待する社会変化

期待の高い分野

- | | |
|-------------|---------------|
| 1位 観光・地域活性化 | 4位 (安全)レジリエンス |
| 2位 国際交流・平和 | 5位 環境 |
| 3位 健康増進 | 6位 復興 |



注: 重視すべき順位を1~10位まで回答したデータについて1位10点、2位9点...10位1点として点数化

資料: 三菱総合研究所「オリンピックレガシーに関する意識調査」(平成26(2014)年1月)

めざす都市像とまちづくりの基本目標

めざす都市像

- 「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまちかわさき」

まちづくりの基本目標

- 「安心のふるさとづくり」
- 「力強い産業都市づくり」

災害対策
高齢・障害者施策
子育て環境整備など

産業振興・
都市拠点整備・
交通施策など

基本政策

臨海部の活性化など

1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり

2 子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり

3 市民生活を豊かにする環境づくり

4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり

4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

KING SKYFRONTにおける国際戦略拠点の形成

羽田空港の対岸に位置する「KING SKYFRONT」(約40ha)を
中核として革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出をめざす

羽田空港

羽田連絡道路
2020年を目指し
整備が決定

1 川崎生命科学・環境研究センター(LISE)
平成25年3月運営開始

- 川崎市の研究機関のほか、民間企業等が入居する複合施設

2 実中研 再生医療・新薬開発センター
平成23年7月運営開始

- 再生医療による脊髄損傷やアルツハイマー治療などの先端医療の実現を目指す

3 大和ハウス工業(株)
平成27年度から複数の工区に分けて順次着工予定

- 川崎市と連携・協力して、地域活性化のためのまちづくりを進める
- 研究者が自由に行き交う大学のキャンパスをイメージし、研究開発機能のほか、賑わい・交流機能や憩い機能からなる開発を行う

4 クリエイトメディック(株)
平成28年度 運営開始予定

- 人体への適合性の優れたシリコーン製を中心とする医療用の細管「カテーテル」の研究および開発

5 国立医薬品食品衛生研究所
平成29年度 運営開始予定

- 医薬品、食品等の品質、安全性並びに有効性の評価に関する試験・研究を実施
- 地方衛生研究所や検疫所に技術指導を行うほか、世界各地からの研究者の受入、研修等を実施

6 ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)
平成27年4月運営開始

- 京浜臨海部のものづくり企業群、羽田空港との近接性や特区制度の活用により、ナノ医療技術の国内外ネットワークのハブを構築
- 医療的・産業的インパクトの大きい3領域(医薬品、診断・治療機器、再生医療支援)において、ナノ医療技術の実用化に向けた研究を実施

7 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 東京サイエンスセンター
平成26年8月 運営開始

- 高度医療機器の安全使用のための医師向けの研修を実施
- 開発中の医療機器の評価試験を実施

8 (公社)日本アイトープ協会
平成29年度 運営開始予定

- アイトープ製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発等

9 神奈川県 ライフイノベーションセンター(仮称)
平成28年度 運営開始予定

- 再生・細胞医療分野を中心に研究開発から製品・商品化まで幅広く事業展開が可能な施設

10 ペプチドリーム(株)
平成29年8月 運営開始予定

- 独自の創業開発プラットフォームシステム:PDPSを用いた「特殊ペプチド」による創業研究開発の拠点

11 富士フイルムRIファーマ(株)
平成28年度 運営開始予定

- 放射性・非放射性医薬品及び放射性標識化合物の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入

12 CYBERDYNE(サイバーダイン)(株)
竣工時期未定

- 医療・介護福祉機器等の研究開発・製造・販売等

国家戦略特別区域に「東京圏」として指定

- 世界から資金・人材・企業等を集める国際的ビジネス拠点・イノベーション拠点を形成するため、神奈川県、横浜市、川崎市が共同で取組
- 平成26年5月1日指定

4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

KING SKYFRONTにおける国際戦略拠点の形成

ナノ医療イノベーションセンター iCONM

- 平成27年4月運営開始
- 文部科学省の補助事業
「国際科学イノベーション拠点」として整備

● 特徴

国内外の産学公民が一つ屋根の下で新たな産業や雇用を創出するため、革新的課題の研究開発に異分野融合体制で取り組む。

● 施設概要

敷地面積：約8,000㎡
延床面積：約9,500㎡
地上4階建て



ナノ医療イノベーションセンター

センターにおける取組

文部科学省のCOI STREAMの活用による研究開発

- 難治がんを標的化し、駆逐できるナノマシンの開発
(難治がん治療用ナノマシン開発)
- 採血不要の在宅がん診断システムの開発
(ナノ診断システム開発)
- 社会実装に向けた社会システム構築 など

「KING SKYFRONT」の研究成果

- 実験動物中央研究所
フランス国立保健医学研究機構と共同で、ヒト肝細胞移植マウスのマラリア感染モデルの開発に世界で始めて成功。



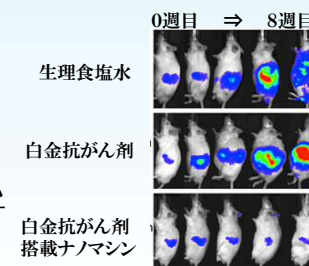
実験動物中央研究所

- 川崎市健康安全研究所
国内で広がりつつあることが分かった新型ノロウイルスについて、同研究所が世界で初めて検知し、国際機関に登録。世界に向けて注意喚起することとなった。



川崎市健康安全研究所・神奈川県科学技術アカデミーが同居する川崎生命科学・環境研究センター(LISE)

- ナノ医療イノベーションセンター
難治がんであるすい臓がんにな正常な組織を壊すことなく効果的に抗がん剤を投与できる極小カプセル「ナノマシン」を開発。長期的に安全な化学療法薬剤として期待される。

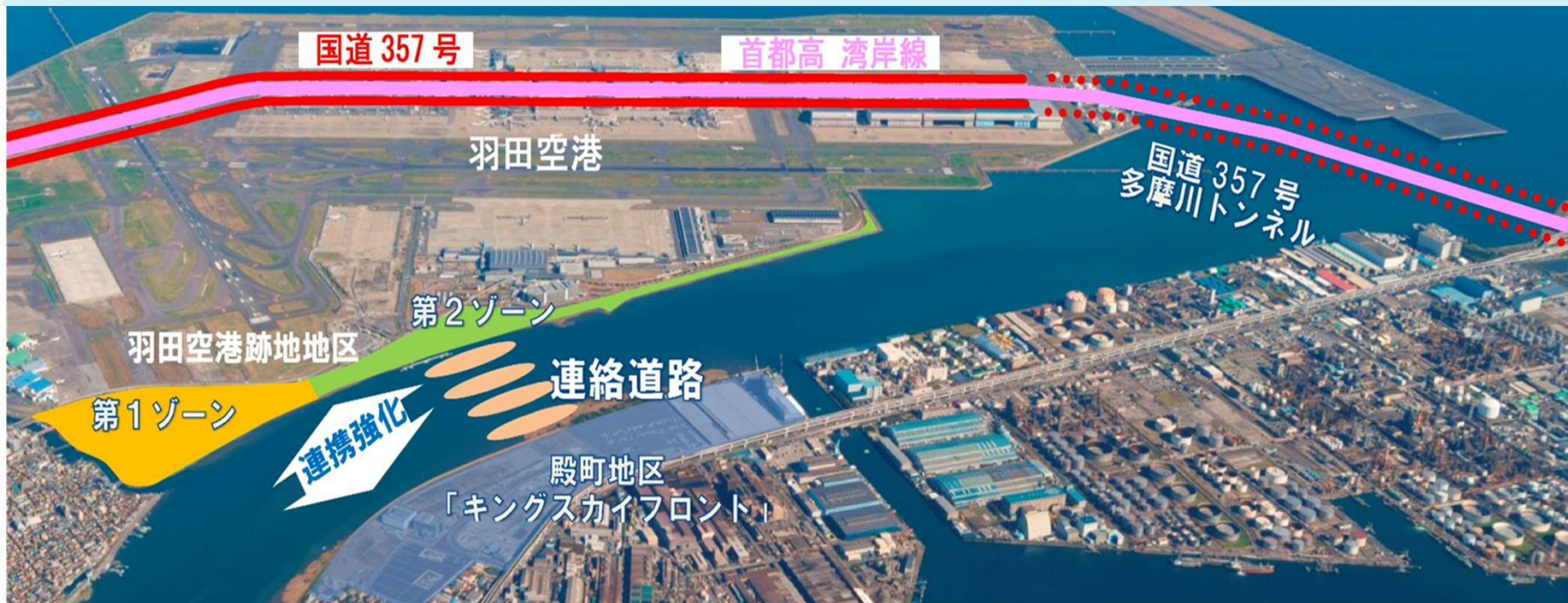


すい臓がんマウスへの薬剤投与によるがん抑制効果の実証

4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

KING SKYFRONTにおける国際戦略拠点の形成

羽田連絡道路



平成27年5月 「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」第2回会議開催

⇒ルート、構造、事業主体等について合意

(内容)・羽田空港跡地地区と殿町地区の中央部に新たな橋梁(2車線)を整備

・川崎市と東京都の間で協定を締結し、施工主体・費用負担等を決定

⇒早期整備に向け、引き続き、関係者と連携した取組を推進

新たな総合計画の推進に向けて

今後の財政運営の基本的な考え方

1 効率的・効果的な事業執行の推進

・民間活力の活用、資産マネジメントの取組 など

2 財源確保に向けた取組の推進

・市税等の債権確保策の強化、市有財産の有効活用 など

3 将来負担の抑制

・市債残高の適正管理、減債基金借入金の計画的な返済 など

4 「収支フレーム」に沿った財政運営

・持続可能な行財政基盤の構築に向け、指針に沿った財政運営

5 財政運営の「取組目標」の設定

・継続的な収支の均衡、プライマリーバランスの安定的な黒字の確保 など

資産マネジメントの取組

かわさき資産マネジメントカルテの取組 戦略とその進め方

戦略1 施設の長寿命化

◆全ての施設について長寿命化に配慮した取組を実施

今後の事業のあり方や、コストメリット等の観点により適しない場合を除き、長寿命化に配慮した取組を実施する。

戦略2 資産保有の最適化

◆将来の財政状況等を見据えた建築物総量の管理

引き続き人口増加等による多様な市民ニーズに対応しながら、将来の財政状況等を見据えた建築物総量の管理を行う。

戦略3 財産の有効活用

◆多様な効果創出に向けた財産有効活用の取組拡大

歳入確保等の財政効果のみならず、地域や本市全体の施策推進・課題解決に向け、取組を拡大する。

基本的な視点 <本市が推進するさまざまな施策等との連携>

- ◆「全庁横断的マネジメント」の視点
- ◆「環境配慮」の視点

- ◆「市民利用の安全性」の視点
- ◆「暮らしやすいまちづくり」の視点

- ◆「企業会計的マネジメント」の視点

資産マネジメントの取組

かわさき資産マネジメントカルテの取組

学校施設の長寿命化

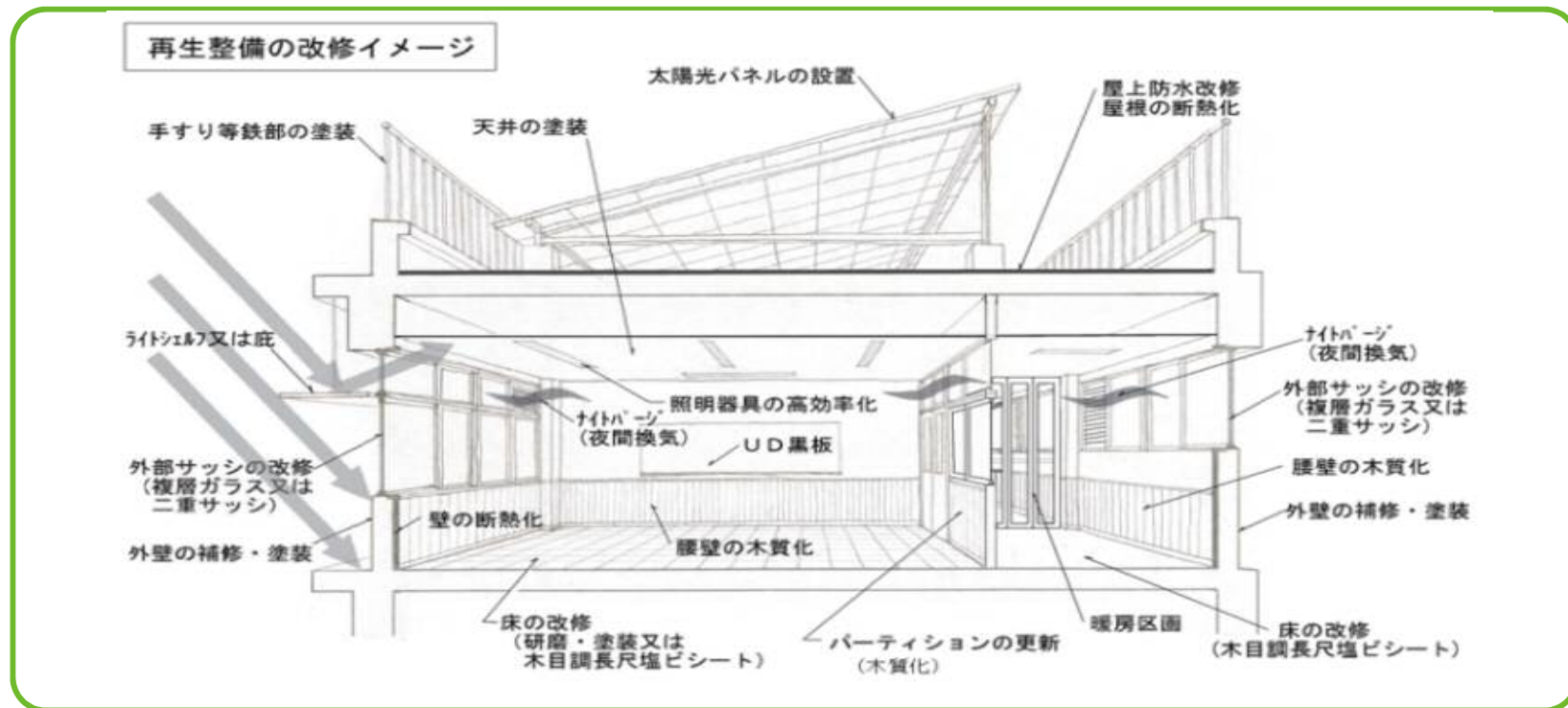
これまでの建替え中心の施設整備から、より多くの学校の教育環境を早期に改善することが可能な改修による「再生整備」に手法を転換

学校カルテ（平成24年度作成）

全172校の運用面・状態面の状況を調査、安全性、快適性、学習活動への適応性、環境への適応性等を評価

学校施設長期保全計画（平成25年度策定）

教育環境の改善と長寿命化の推進による財政支出の縮減と平準化を図る



収支フレーム

- 「収支均衡」に向けて、28～32年度の5年間で「収支フレーム」と位置づけ、その後の33～37年度の5年間の「収支見通し」も視野に置きながら、財政運営を行います。
- 持続可能な行財政基盤の構築に向け、「収支フレーム」に沿った財政運営を行っていきます。

(単位:億円)

区分	収支フレーム					収支見通し				
	H28予算	H29見込	H30見込	H31見込	H32見込	H33見込	H34見込	H35見込	H36見込	H37見込
市税	3,015	3,474	3,523	3,597	3,647	3,678	3,716	3,767	3,788	3,841
その他	586	552	613	613	606	609	600	564	567	551
歳入合計	3,601	4,026	4,136	4,210	4,253	4,287	4,316	4,331	4,355	4,392
減債基金 返済							20	20	20	20
投資的経費	303	361	299	293	296	293	271	254	254	254
一部の社会保険関連経費	851	896	927	953	986	1,000	1,027	1,054	1,081	1,121
高齢者福祉	268	287	301	316	333	349	368	387	408	442
障害者福祉	180	186	194	197	209	202	205	207	210	212
生活保護	147	150	152	153	155	156	158	160	161	163
保育事業(待機児童対策)	221	236	243	250	252	256	259	263	265	267
小児医療助成	35	37	37	37	37	37	37	37	37	37
公債費(諸費を除く)	700	706	714	715	726	740	751	766	758	741
管理的経費・政策的経費	1,839	2,254	2,239	2,244	2,240	2,243	2,241	2,230	2,236	2,234
歳出合計	3,693	4,217	4,179	4,205	4,248	4,276	4,310	4,324	4,349	4,370
収支	▲ 92	▲ 191	▲ 43	5	5	11	6	7	6	22
減債基金からの新規借入 想定額	92	191	43	0	0	0	0	0	0	0

財政運営の取組目標

- ①継続的な収支の均衡 ②プライマリーバランスの安定的な黒字の確保 ③減債基金借入金の計画的な返済

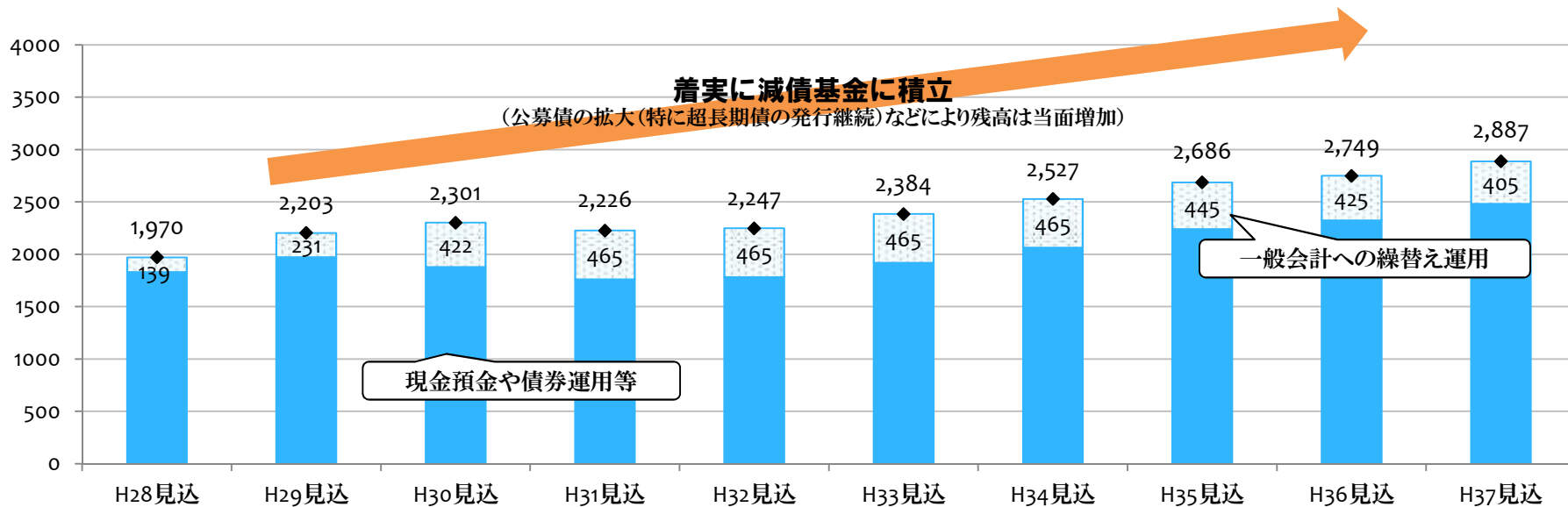
減債基金残高について

- 税制改正の影響などから歳入が伸び悩む中でも、これまで計画的に進めてきた事業や市民サービス向上に必要な施策を時機をみて推進するため、臨時的に減債基金を活用
- 減債基金へは積立ルールどおり着実に積立
- その上で積立額の一部を一般会計に一時的に貸付

【減債基金(一般会計)の推移】

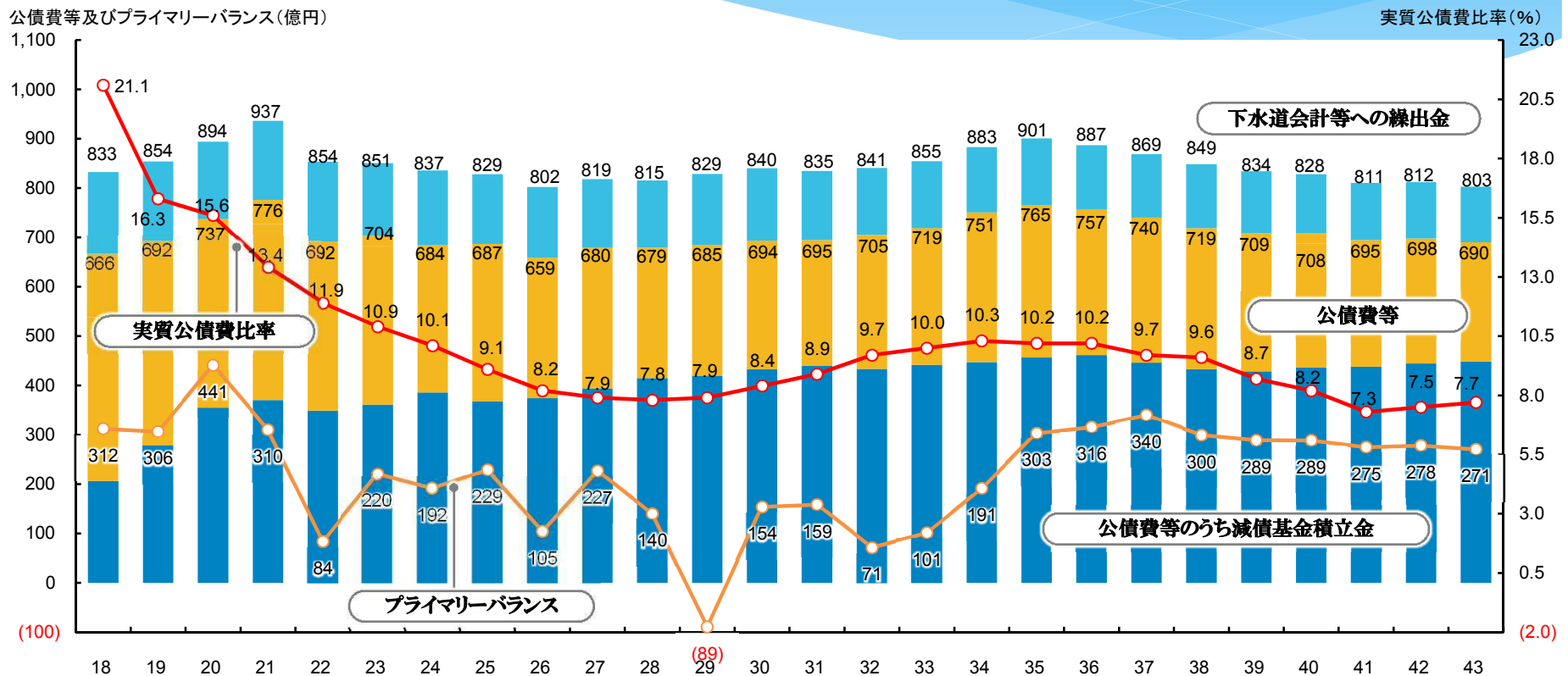
(単位:億円)

	H28見込	H29見込	H30見込	H31見込	H32見込	H33見込	H34見込	H35見込	H36見込	H37見込
減債基金積立額	432	437	451	457	451	459	465	474	479	464
減債基金取崩額	310	203	353	532	430	322	322	314	416	325
年度末残高	1,970	2,203	2,301	2,226	2,247	2,384	2,527	2,686	2,749	2,887



公債費等の推移（一般財源ベース）

- 「収支フレーム」に沿った財政運営により、実質公債費比率は低い水準で推移と見込みます



- 公債費等 一般会計の公債費に、繰替運用などの後年度負担を加えたもの
- 下水道会計等への繰出金 公営企業債の元利償還金に対する一般会計からの繰出金
- プライマリーバランス 借入を除いた税収などによる収入と、借入れに対する元利払いを除いた支出とのバランスのこと

注 26年度までは決算、27年度は3月補正後の予算で算定しています。実質公債費比率は19年度に算出方法が変更されています。

市債残高等の推移

- 減債基金を控除した実質的な市債残高は安定的に推移すると見込みます

